



JETRO

江西省・南昌市 概況説明資料

2025年7月

日本貿易振興機構（ジェトロ）
武漢事務所

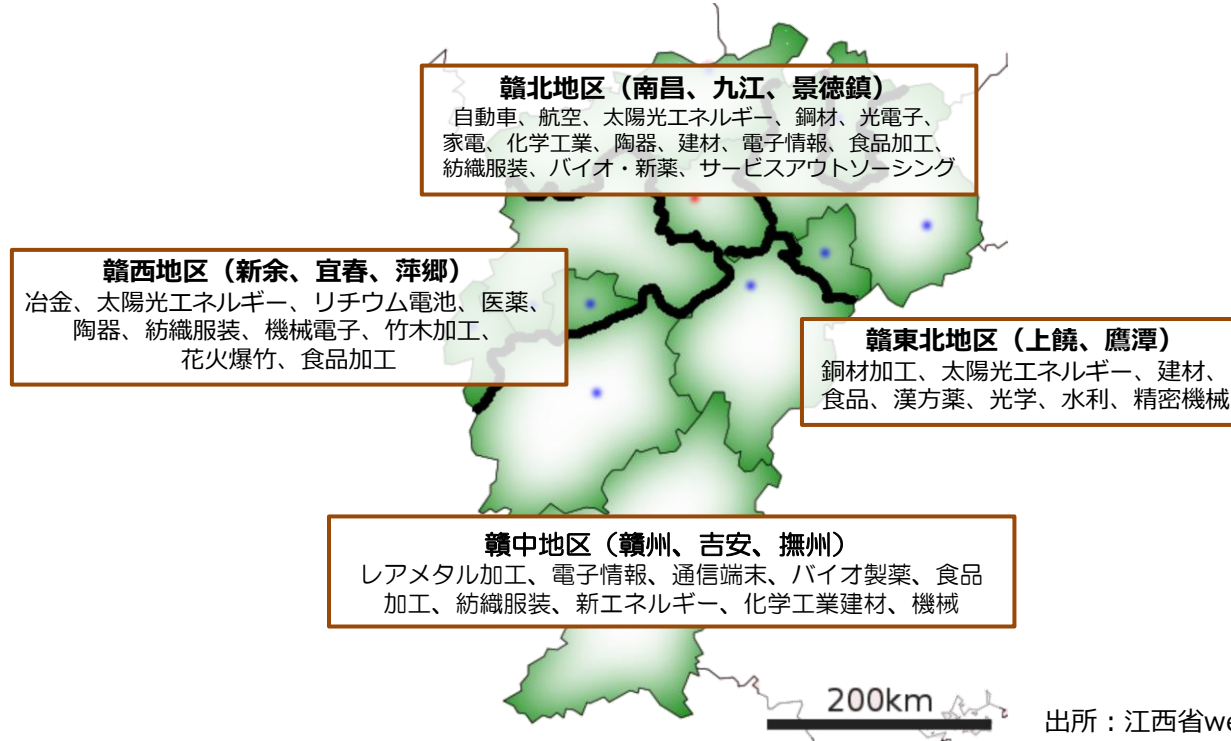
A traditional Chinese pavilion with a tiled roof and ornate decorations is situated on a calm body of water. In the background, a large, dense willow tree with long, drooping branches dominates the scene. The water reflects the pavilion and the surrounding greenery. The overall atmosphere is serene and picturesque.

1. 江西省の概況

江西省の概況

- ・江西省は中国の東南部、長江中下流の南岸に位置。省都は南昌市。
- ・鉱物資源が豊富で、銅の埋蔵量が全国1位。アジア最大の銅山と中国最大の銅の精錬基地がある。
タングステン、銅、ウラニウム、金といった鉱物埋蔵量も全国トップ3位に入っており、ジスプロシウム（レアアースの一種）が商業的に採掘できる世界唯一の地域として知られる。
- ・華東、華南の二大経済圏の中間に位置していることで、労働集約型産業の沿海部からの産業移転先として近年注目を浴びる。主要産業には非鉄産業以外に、電子情報、食品、紡績、自動車、医薬産業がある。
- ・進出している大手外資企業には、ゲトラグ（独）、フォード（米）、いすゞ、武蔵野化学、AGC、マブチモーターなどがある。日系企業の進出は、南昌、九江、宜春、景德鎮など分散している。

江西省の主要地区（都市）および主要産業



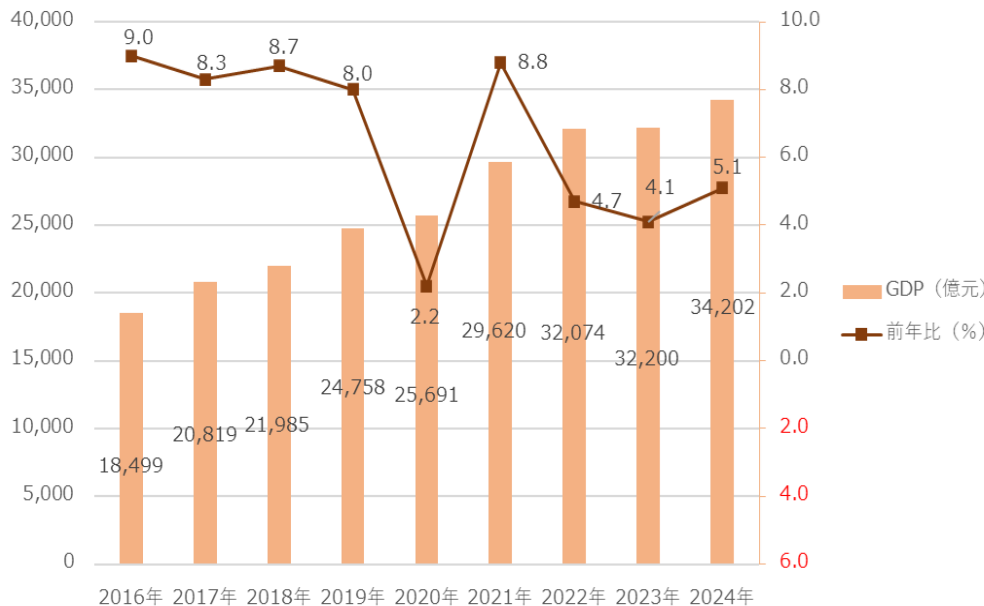
出所：江西省web情報を基にジェトロ作成

江西省の概況

江西省経済はコロナ感染拡大を越えて緩やかに推移

- 江西省の域内GDPは3兆4,202億5,000万元（前年比5.1%増）。コロナ禍以前は前年比8～9%増となっていた。コロナ禍以降は2022年に3兆元を超えた後、緩やかに推移している。
- GDPおよび人口は、中国中部地域（河南、湖北、湖南、江西、山西、安徽）の中では、山西省に次いで2番目に小さい規模。
- 一人当たり可処分所得は伸びつつあるが、全国平均（5万4,188元）を下回っている。
- 貿易総額は、輸出入額ともに伸び率がマイナスとなったことから、全体としても大幅に縮小した。

江西省におけるGDPの推移
(2016年～2024年)



出所：江西省統計データを基にジェトロ作成

江西省に関する各種データ(2024年)

指標	数値	前年比 (%)
面積	16.69万km ²	—
人口	4,502万人	▲0.5%
GDP	3兆4,202億5,000万元	5.1%
社会消費品 小売総額	1兆2,821億7,000万元	4.9%
都市住民 一人当たり 可処分所得	4万7,514元	4.3%
貿易額	4,707億5,000万元	▲17.2%
(輸出額)	3,045億5,000万元	▲22.5%
(輸入額)	1,662億元	▲5.5%

出所：江西省統計データ

A traditional Chinese pavilion with a tiled roof and ornate decorations is situated on a calm body of water. In the background, a large, dense willow tree with long, drooping branches dominates the scene. The water reflects the pavilion and the surrounding greenery. The overall atmosphere is serene and picturesque.

2. 南昌市の概況

南昌市の概況

- ・江西省の省都である南昌は4つの県と5つの区を擁しており、南昌ハイテク技術産業開発区（1991年設立）、南昌経済技術開発区（1992年設立）の計2つの国家級開発区がある。
- ・2024年の域内GDPは7,800億元（前年比4.9%増）。コロナ禍後は堅調に推移している。
- ・主要産業は自動車および自動車部品、食品、生物医療、新材料、航空、電子情報、アウトソーシング業、紡績（衣服）産業がある。完成車メーカーには江鈴汽車と西凱馬百路佳客車がある。
- ・進出している大手外資企業には、いすゞ、マイクロソフト（米）、コカ・コーラ（米）、吉野家などがある。

南昌市内の地図および主要地区



出所：江西省人民政府webを基にジェトロ作成

南昌市に関する各種データ(2024年)

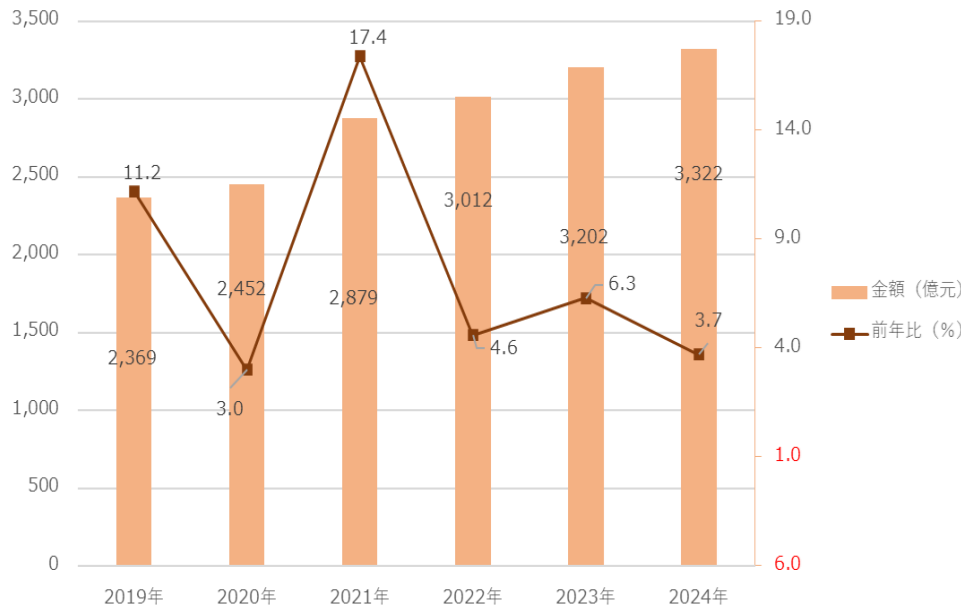
指標	数値	前年比 (%)
面積	7,194.61km ²	—
人口	653.8万人	1.5%
GDP	7,800億元	4.9%
社会消費品 小売総額	3,322億元	3.7%
都市住民 一人当たり 可処分所得	5万7,294元	4.3%
貿易額	1,089億8,100万元	▲2.1%
(輸出額)	723億3,400万元	▲8.2%
(輸入額)	366億4,700万元	12.7%

出所：南昌市統計データ

南昌市の概況

南昌市の消費品小売総額推移

- ・ 南昌市の社会消費品小売総額は、2004年～2012年の期間は毎年16%以上の成長率を記録していた。以降も年10%以上の高い成長率を見せていたものの、コロナ感染拡大により勢いは鈍化した。
- ・ 2024年の社会消費品小売総額は3,322億元（前年比3.7%増）。中部地域の省都である武漢（7,931億元）、長沙（5,797億元）、鄭州（5,884億元）には差を開けられている。



出所：南昌市統計データ

南昌市に進出する外資ブランド店舗数

- ・ 近年中部地域で店舗を拡大する外資系企業の進出も、武漢や長沙と比較すると、南昌市には未進出の企業が少なくない。
- ・ 一方で、2018年時点と比較して各ブランド店舗数はユニクロ（5→8店舗）、無印良品（1→6店舗）、スターバックス（13→40店舗）など増加を見せており、今後さらなる進出が期待される。

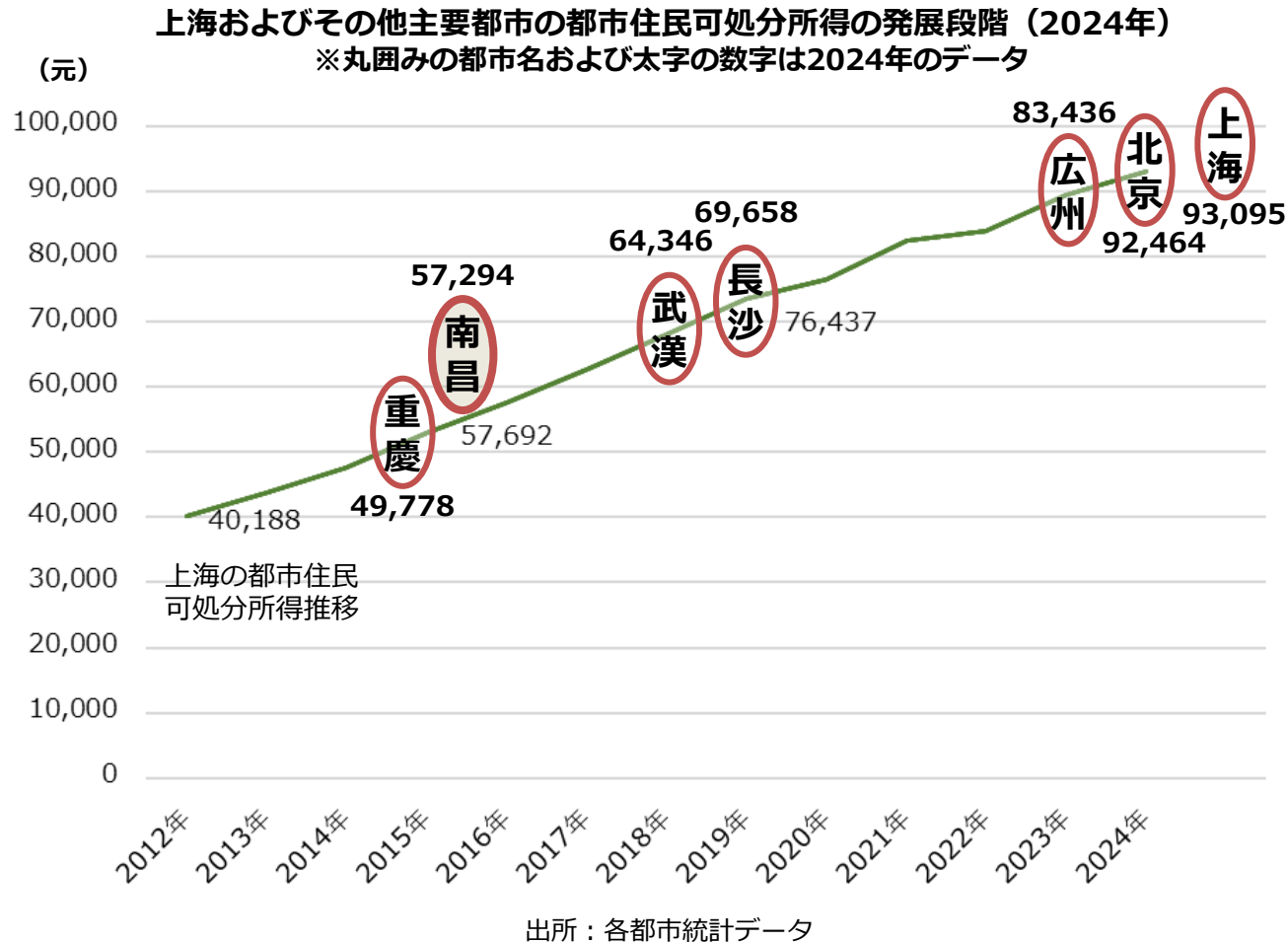
ブランド	出身国	都市			
		南昌市	武漢市	長沙市	上海
ユニクロ	日本	8	26	18	94
無印良品	日本	6	24	14	56
吉野家	日本	6	9	6	22
ZARA	スペイン	1	2	4	18
GODIVA	ベルギー	1	3	0	23
GAP	アメリカ	0	4	1	9
スターバックス	アメリカ	40	196	89	897
ハーゲンダッツ	アメリカ	2	8	7	52

出所：各企業ホームページ、大衆点評

南昌市の所得の発展段階

南昌市の都市住民可処分所得は、2016年の上海の水準に相当

南昌の2024年都市住民可処分所得は5万7,294元となっており、
同数字は2016年の上海（5万7,692元）と同程度の水準。



補足：ジェトロ武漢について

体制：所長（高橋）、所員（1名）

ナショナルスタッフ（3名）

管轄地域：湖北省、湖南省、河南省、江西省

主要業務：相談・ブリーフィング対応、
商談会・セミナー・博覧会等のイベント開催、
現地政府機関との事業協力、ビジネス調査、
現地日系団体との連携

Tel: +86-27-5950-0707

Email : PCW@jetro.go.jp